

大分県

大分県退職校長会

結成 昭和41年12月17日

会員相互の親睦を深め、結束を固くし、師魂に鞭打って教育の向上社会道義の確立に努めることを高らかに宣言した結成大会以来49年目を迎えている。大分県の特徴ある取り組みについて述べてみたい。

(1) 地域活動懇談会（昭和60年開始、平成26年度に30回記念大会を実施）

特色 郡市持ち回りによる懇談会

地域活動懇談会の起こりの一つは、総会で講演を会員の意見発表・研究発表に変えた途端、総会の花形として脚光を浴びた。そこには、生き方のお手本があり、退職後の自らの生き方に大きな示唆を与えるものがあつたのである。二つは荒れた学校に手を差し述べたい。青少年健全育成にお役に立ちたいという会員の心情からであつた。



現在3つの分科会に分かれ様々な発表が行われている。

第1分科会「趣味・特技を生かした活動」（発表例）「自然のよさをこどもたちに」

第2分科会「地域住民としての活動」（発表例）「花と緑で活力ある地域づくり」

教育の日推進分科会「推進体制をどう整えるか」（発表例）「昭和の町は教育の町」

懇談会の意義は何か。一つは、会員の生き方に大きな示唆を与えている。二つは、郡市持ち回り開催によって、担当郡市会員が一つになり、企画から運営、提案、発表まで、だれの手も借りずにやりとおすという過酷な条件の下で、生みの苦しみとやり遂げた満足感を得ることができたからである。懇談会は、郡市退職校長会の活性化にも役立っている。

(2) 「教育の日」の取り組み

特色 地域総ぐるみによる学校支援、市町村にふさわしい条例制定

「教育の日の取り組みが11月1日の『教育の日』前後だけで終わってはいけない。毎日が教育の日である。」平成19年度は教育の日の活動内容及び推進体制について、将来を見通した在り方についての意見に終始した年であった。翌年には、県退職校長会の基本的な立場が承認された。

目指す方向性 次世代を担う心豊かでたくましい子どもたちの育成

基本姿勢——地域社会とともに学校を支援する

活動内容——学校支援、日常活動、啓発活動、行事・催し活動、県、市町村との連携

推進体制——条例化、規則化、組織の拡充、地域活動懇談会の教育の日推進分科会

退職校長による学校支援は、全郡市で取り組みが行われるようになり、現在では、地区教育懇話会会員の参加者も増え、曜日や年間の活動日数を決めての日常的な取り組みへと発展している。また、行政と連携した取り組みや地域住民を巻き込んだ地域をあげての学校支援が見られるようになってきた。市町村にふさわしい条例の制定については、県と郡市の3役及び地区教育懇話会の会長が市町村教育長と懇談しお願いをしている。